



## カンボジアの子どもたちに教科書を

2014年6月 No. 49

### カンボジア便り

市井秀治

## ルセイサン小学校の校長先生が 定年退職されました

### ～目次～

カンボジア便り	
校長先生定年退職	1
前期の成績と問題点	2
ボランティアさんの感想	3～8
決算、予算報告	9
事務報告	10

ルセイサン小学校の校長がこの4月に定年退職されました。ルセイサン小学校・幼稚園での支援だけでなく、近年では教科書支援を周辺の学校に広げていく際も、各校の校長先生のまとめ役として活動してくださり、当会のカンボジアでの活動に多大なる貢献をしてくれました。そういったこともあり、当会スタッフのリティさんや他校の校長らの提案で、彼が小学校校長の職を退職した後も、当会のカンボジアでの活動にパートタイムで協力してもらいたいという話になりました。当会では、いずれにしても教科書支援が拡大している中で、リティさんに助手を一人つけないと業務が進まないという懸念を近年持っておりましたので、



予算的にも新たに人を雇うよりも安く済みそうであるということで、現地の提案を受け入れ、今後、必要に応じて当会の活動に有償で参加してもらうことにしました。具体的には、四半期や年次の校長先生らのミーティングのアレンジ、各校の学業成績の集計、教科書購入、その他当会が依頼する諸々のデータの収集な

ルセイサン小学校校長（一番右）の送別会

ど、必要に応じてパートタイムで彼を採用し、つど 10 ドルと実費の電話代を払うということになりました。

## 教科書支援でも一部の学校では改善が見られません

教科書支援を行っている各校の 2013・2014 学年度第 1 学期の進級状況が出ました。留年をすることなく無事第 2 学期に進級することが決まった子どもの割合は、90%前後（逆に 10%前後の子どもが留年しているということです）で昨年と比べて、大きく改善が見られませんでした。留年(原文は Repeat)というのは学年末ですといわゆる落第のことですが、今回は補講と追試の対象になるということです。

現地からの報告によれば、その原因は今までとあまり変わらず、家事やゴミ捨て場での物拾いなどの手伝いで子どもが学校に行けなくなることや、親が職を転々としており、村から引っ越してしまうことが多いことなどが挙げられます。学業成績が向上するなど、教科書支援によって一定の成果は得られたものの、各家庭の貧困という根本の問題から、なかなかそれ以上の成果を上げられない実情が浮き彫りになり、非常に残念な結果となりました。当会では、カンボジアの方での自立を促そうと、現地の人が家畜を育てるなどなんらかの商売をするのを当会が一部支援し、収入を向上させるということのを何とかできないかと検討中ですが、学校に来られなくなる子どもは各家庭の貧困が原因なので、問題の根が深そうです。どのような支援をすることで状況が改善できるか、今後とも引き続き検討していきます。なお、この学期での退学(Drop)はなく、これは嬉しいことです。



絵本が増えた図書室で本を読む子どもたち

## ボランティアさんの感想

小さな鍵が多くのドアを開けられる

～文京国際交流フェスタにボランティア参加して～

インターナショナルスクール 中学3年

李 遵(リ ジュン)

日韓アジア基金のボランティアに参加したのは、日韓両国の人が共に募金集めに貢献することで両国の関係を良くすることができると思ったからです。

また、このような大きなボランティアのイベントに積極的に関わって、恵まれない人の役に立ちたいという思いがありました。

当日、待ち合わせ場所に行くと、高校生（中学生？）は私一人で、他はみんな大学生か成人の人ばかりでした。最初は居心地の悪さを感じて、緊張もしましたが、自分の役割をしっかりと果たそうと決めました。

その後何人かの人に会う内、ボランティアとは単に人助けの為の活動ではなく、人から多くの考えを学び、色々な価値観や考え方をを持った人と知り合う機会でもあるということを実感しました。

個人的には、ティーンネイジャーである自分が成人に話しかけるということで、敬語に注意して、相手に敬意を持って接することを心がけていました。おかげで、年上の人にとのよう  
に接し、話したら良いのかを学ぶこともでき、良い経験となりました。



ブースの裏側でも広報活動をしました

イベントの間、韓国茶を作って売り、日韓アジア基金の理念やプロジェクトについて書かれたパンフレットを配る仕事をしました。

リーダーの人が、どのようにして「97 円募金」や「カンボジアの子どもに教科書を」という垂れ幕・スローガン考えたかを教えてくださいました。その垂れ幕を見た人が、なぜ 97 円なのだろうと不思議に思って興味を持ってくれることが狙いだそうです。また、多くの大人が「子ども」という言葉にとっても惹きつけられるということです。

お茶は一杯 50 円で売りましたが、それが高いのか安いのかなどは全く気にならず、皆さんがお茶を買ってくれることは、私達の努力を買ってくれることだと感じ、ただ嬉しく感じました。そして、私達の努力を受け入れてくれることが、カンボジアの子ども達への寄付へとつながるのです。皆さんが、ただ飲み物が欲しくてお茶を買っているのか、寄付する為にお茶を買っているのか、そんなことは全く考えず、ただお茶を買ってくれることが、私達とカンボジアの子ども達への助けになっている、そのことだけを考えていました。

ボランティアに参加したことで、かけがえの無い、貴重な価値観を得られたと思います。ボランティアのスタッフとして、色々なことを感じ、考え、決意することができました。少しの小銭でも、人の笑顔や満足・希望に値するものなのだと感じました。



#### 楽しく有意義な一日でした

イベント終了後、日韓アジア基金のリーダーやスタッフの方を称賛せずにはいられない気持ちになりました。皆さん正直に、最終的にはお金（募金集め？）の為の活動とおっしゃっていましたが、当然のこととして、そのお金は医療・教育・金銭面の手助けを必要としている人への寄付を意味しています。人はボランティアについて書かれた垂れ幕を見ると、すぐに横を向いてしまいます。あるいは、全く見ようとさえしないのかもしれませんが。私自身もボランティアに以前は興味がありませんでした。しかし、このイベントを経験した今、どれだ

け多くの方が自身を成長させ、世の中の役にも立てる絶好の機会を無駄にしているのかと、実感しました。ただお茶を売るだけで、世の中の役に立てるのです。ただボランティアの T シャツを着て、募金のお願いをするだけで、世の中の役に立てるのです。

最後になりましたが、たった一つの小さな鍵が多くのドアを開けることができ、その小さな鍵はいつでもあなたの周りにあるのだと、心から言いたいと思います。

## 一石二鳥の1日！！

～文京国際交流フェスタにボランティア参加して～

若松 晴美

日韓アジア基金を知ったきっかけは昨年のグローバルフェスタでした。子供の教育に関心があった私は、カンボジアの子供たちに教科書を！！というフレーズとたくさんの可愛い子供たちの写真が飾られているブースに自然と足を止めました。そして、そこにいたスタッフの大澤さんをたくさん質問攻めにしてしまいました。(笑) 嫌な顔ひとつせず私の質問に熱心に答えて下さった大澤さんの印象がとても強く、また、設立者の思いである、『日本と韓国の若者が一緒になってカンボジアの支援をしていくことにより、歴史の壁を越えていきたい！』という理念にもとても感動し、たくさんのブースの中でも最も記憶に残りました。先月建設ボランティアでカンボジアを初めて訪れ、仏教に根付いた人々の温かく穏やかな



ブースの飾りつけも終わり、販売する韓国茶の準備です

振る舞い、そして微笑みに魅了され、カンボジアが大好きになりました。同時に、ほんの一部ではありますが途上国の現状を目の当たりにしてさまざまな心の葛藤がありました。なんで日本とこんなにもちがうんだろう、自分はどんなに恵まれて生きてきたのか。カンボジアの歴史や現状を知れば知るほどこの人たちのためにこれからも何かをしていきたい、と強く思いました。帰国後は、「カンボジア ボランティア」を検索ワードにして探していたところ、近日開かれる文京区の国際交流フェスタでブースを出すある団体の1日ボランティア募集の求人を見つけました。団体名は、記憶に強く残っていた日韓アジア基金でした。

当日は、大学生と社会人のボランティア参加者が半数ずつくらいで活動しました。バックグラウンドはさまざまでしたが、ボランティアに参加したい！という気持ちを持った仲間の集まりなのでみんな和気あいあいとしていました。4種類の韓国茶を売ることがメインに、募金も募り、団体の活動紹介もしていく…意外と難しく、ちょっとこつがあるなと思いました。募金活動は学生時代に経験があったのですが、場所やタイミングの関係もあり、効率よく声を出すことができませんでした。いかに短い言葉で活動の真髓を伝えるか…改めて学ばせてもらいました。

反省点もあがった一方で、ベトナム、ミャンマー、中国、ドイツ、ニュージーランドなど様々な国に関わるブースや催し物があり、たくさんの外国人の方と触れ合う機会があったことはとても嬉しかったです。英語で外国の方に韓国茶のことや活動を伝える場面もあり、いろんな国の人と一緒に触れ合うことのできる、日本の日常にはあまりない素敵な空間でもありました。日本にいながらボランティアもできて、国際交流もできるなんて一石二鳥です！！

ボランティアに参加する時に、いつも思うことがあります。自分は労力を提供して無償で誰かのために何かをするという能動的な側であること以上に、自分自身が必ず何かを学ばせてもらっている、ということ、そして、同じ志を持った仲間に出会うことができるという受動的な側にもいることです。今回もさまざまな発見や学びがありました。何か必ず変化があるんです。私はまた、カンボジアへ行き直接何かをしたい！という気持ちが強くなりました。

大澤さんをはじめ、お世話やフォローをしてくださったスタッフの方々、一緒に活動した参加者の方々、本当にありがとうございました。今回のボランティアをきっかけに、これからも貴団体の活動に参加させていただきたいと思っています。そして、もっとたくさんの新しい仲間に出会えることを願っています。カンボジアの子供たちが教科書を持って楽しそうに授業を受けている姿を思い描きながら、貴団体でできること、個人でできることに取り組んでいきたいです。

## ボランティア活動で得られるものは大きい！

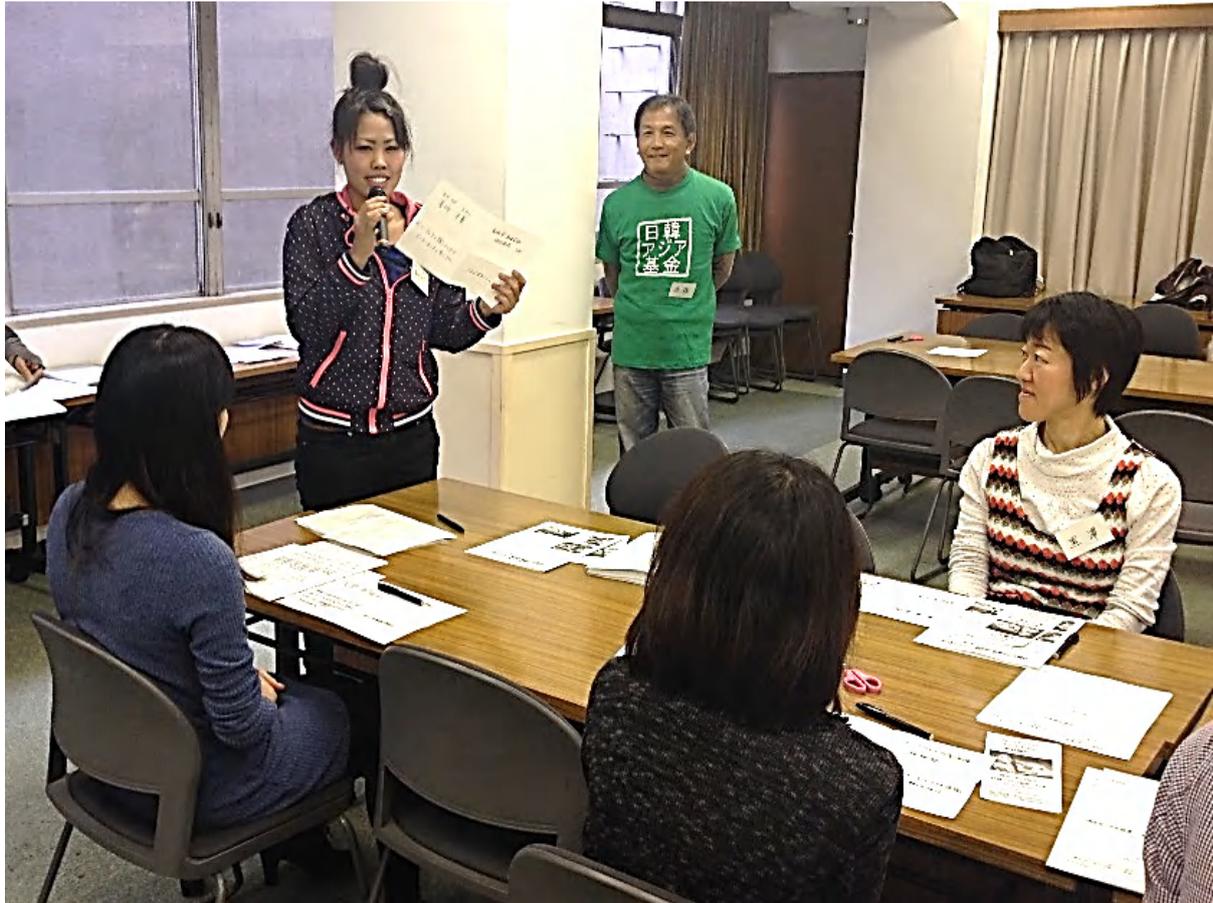
～ニュースレター発送ボランティアを終えて～

大学生 青柳千夏

ニュースレター発送作業のボランティアに参加しようと思ったきっかけは、正直、ただただ、将来の就職における自己PR欄に「ボランティア活動」を書く場所を埋めるためでした。

当会の皆さんには申し訳ないのですが、他の皆さんのように、ボランティアに対してそこまで意欲があるわけでもなく、予定が合ったのでとりあえず行ってみようということで参加させていただきました。しかし、たった数時間の間に得られたものは私の想像をはるかに超

え、ボランティアって楽しいんだ！という思いと同時に、人の役に立てることの喜びを知り、ボランティア活動に対する考えを改めることができました。



### 楽しそうな自己紹介

今回のボランティア活動の内容としては、誰もがができるような単純作業です。ちょっとした手紙を書き、それにニュースレター等の書類を加えて封をし、都道府県別に並べるというものでした。しかしこの単純作業には、人の手で行うことの大切さと、人とのかわりが含まれていました。手紙を書いていると疲れもあるのかだんだん、字を間違えるようになりました。本当は修正液で消すべきところを面倒がって上から書いてごまかしたいのですが、「これが人の手に渡る」と思うと、妥協はだめだなと思い修正液を取る自分に、自分が驚きました。また、いつのまにか自分から積極的に動いたり、話しかけたりしていて、今までの自分ではないのではないかとすら思います。また、初めて会った方々と、大学では何を専攻しているのかとか、こういうボランティア活動があるとか、会社等普段は何をしているとか、たわいもない会話をしながら活動をし、初めて出会った方々とのコミュニケーションをとることに良い刺激を受けることができました。普段、このように新しい環境で活動することが乏しい私にとって、大きな実りある経験だったと思います。

このように、ボランティア活動に参加することは、自分にとって大きくて貴重な経験となり、それが人の役に立てることによって一石二鳥のように思います。最後に、とりあえず参加したという考えを訂正させてください。また、ぜひ積極的に参加したいです。

### 初めてのボランティアの先に見えたもの ～ニュースレター発送のボランティアに参加して～

大学生 匿名

今回、私は初めてのボランティア活動として、日韓アジア基金会報の発送作業に参加させていただきました。

小学校の頃から学校が行っている募金活動には参加していたのですが、大学生になってからはめっきりそんな機会もなくなり、何か自分にできることを少しでもやりたいという思いが強くなりました。大学というのは、やらされる場というよりも、むしろ自発的に行動することで自分の生き方を探り、どんな人間にもなれる場だと思っています。私は一般のボランティアに参加することに今まで躊躇し続け、あっという間に大学3年になってしまいました。しかし、今やらなかったら後悔すると思ったし、自分から少しでも動こうと勇気を出せば、何か今までと違った世界が見えるのではないかと思って、やっとこのボランティアに参加する決心ができました。

会場に着いた時、なによりも安心したのが主催者側の明るさや、私達ボランティアへの気配りでした。初めて会う方達もベテランさんから、私と同じように初めての人まで多くの方が参加しており、なにより自己紹介をすることで様々な分野の方が来られているという事が分かり、それが作業中にお話しするきっかけとなり、さらに楽しく作業ができました。作業中は色々な人と関わることで、それぞれの人の良さがよくわかり、自分ももっとこうなれるようにしようと思うことも多く、様々なことが吸収できました。短い時間ではあったけれど、作業に没頭するうちにあっという間に時間は過ぎていたし、充実した時間が過ごせたと感じています。

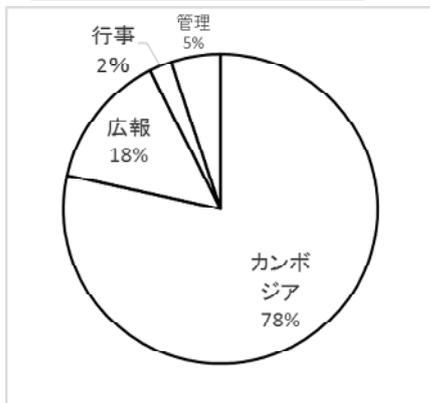
このボランティア活動は、カンボジアの子供たちに直接関わるものではないし、又募金をするわけでもないため、発送作業という活動からしてみれば私達は木の葉のようなものかもしれないけれど、カンボジアでの子供達のことを知る機会にもなったし、この感想を書くことでもう一度ボランティアについて自分なりの考えを整理する事ができたと思います。これを機に、少しの勇気をだして様々なことに挑戦してみることを忘れずに、自分の描く自分なりの世界観を広げていきたい、と改めて思いました。



一字一字に思いを込めて

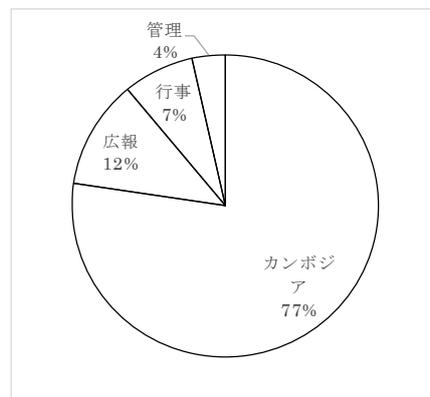
## お金の使い途を中心にした決算報告と予算

**平成 25 年度支出**  
(平成 25 年 1 月～12 月)  
**総額 127 万円**



日本

**平成 26 年度予算**  
(平成 26 年 1 月～12 月)  
**総額 160 万円**

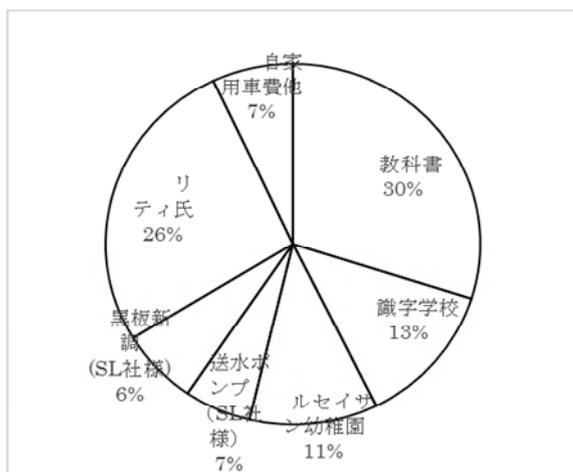


- ・ 広報費は、ニュースレター及び年賀状の印刷・送料と外部イベントへのブース出展費用が主なもの。
- ・ 行事費はビビンの会の開催経費で、参加会費との収支相殺になっています。
- ・ 管理費は会計ソフト購入費と用紙・インク代。

- ・ 総予算が昨年度より増えているのは円安のためです。
- ・ 行事費が昨年度より多いのは、ビビンの会の開催を年間 2 回予定しているためです。なお、費用と参加会費は収支相殺を予定しています。
- ・ 他はほぼ前年度並みと考えています。

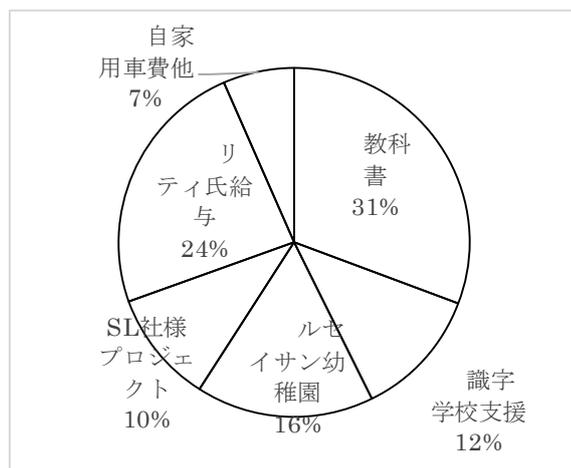
支出に占める管理費の割合が、約 5%と非常に低い値になっています。これは国内スタッフが全員ボランティアで、人件費及び交通費等が零であること及び事務所経費が貸主であるアジア文化会館様のご好意で無料であるという特殊事情によります。

**平成 25 年度支出**  
(平成 25 年 1 月～12 月)  
**総額 12,200 ドル**



カンボジア

**平成 26 年度予算**  
(平成 25 年 1 月～12 月)  
**総額 13,000 ドル**



- ・ 教科書は、11 校に総計 3,873 冊 3,659 ドルの支援をしました。
- ・ 幼稚園支援の内容は教員給与 575 ドル、Tuk Tuk 運行費 780 ドル。
- ・ 識字学校は教員の給与 1,320 ドル、家賃 240 ドル。
- ・ SL 社は Swedish Lifestyle 株式会社の略で、この 2 件は同社から頂いたご寄付 144,000 円を主体に実施したものです。
- ・ 自家用車は燃料代 600 ドルが主なものです。

- ・ 総体的には前年並みとなります。
- ・ SL 社様プロジェクトは、ご寄付が頂けた場合に現地校長会と相談して実施内容を決める予定です。

独立した事務所を持たず、日本との連絡はインターネットカフェで行っていることで、管理費が大幅に低減しています。節減額は過去の実績から年間 2 千ドルと見込んでいます。これはリテイ氏の努力に負うところが大きです。

## 2013 年度年次総会終了報告

表題の件、3月22日に開催し、予定の審議事項は全て承認され無事終了致しました。

### 当イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

2014年3月2日 ニュースレター48号 発送作業

青柳千夏・内田朱香・大里紗由利・太田望・小倉萌・菊田明日美・黒澤真理・佐藤美由紀・佐原美菜・成田ちさと・朴香み・星野廣平・宮下修・馬上幸太・山崎のぞみ・依田直子・依藤杏奈(17名)

2014年3月15日 文京フェスタ 2014 ブーススタッフ

会津比香里・稲積葉月・霧山祐司・佐々木優真・中江紀子・中本紗生・星野廣平・町田彩音・安信吾・李遵・若松晴美(11名)

### 2014年3月7日～2014年5月15日に会費・ご寄付を下さった方 敬称略・五十音順(別枠除く)

五十嵐 安雄	大坪 玲子	高橋 政行	平塚 千尋	矢崎 芽生	湯田 亜里沙
磯尾 彊一	語ろう会	伊達 幸輝	松田 明美	山根 寛	李 遵
岩見 豊子	小林 栄次郎	中川 敦司	松田 えり子	兪 和暎	
大塚 紀子	高木 桂子	長島 和子	満井 啓二	柳 明姫	

匿名寄付 ボランティア野菊の会 マールツァイト 白井 幸子

#### ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)  
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)  
法人会員:年会費1口10万円  
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

#### <郵便振替口座>

口座番号 00180-2-25153  
口座名 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権があります。
  - ・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。
- ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

#### <お問い合わせ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内  
Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)  
E-メール: [ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp](mailto:ilaf@iloveasia2.sakura.ne.jp)  
HP: 検索サイトで「日韓アジア基金」で検索なさって下さい。

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也